

学部等	学科等	①大学・大学院の設置理念		②教員養成に対する理念・構想（大学、大学院）	
		①学科・専攻の設置理念		②教員養成に対する理念・構想（学科、専攻）	
③認定を受けようとする課程の設置趣旨（学科等/免許校種ごと）					
		念「①大学の設置理念」 念「②教員養成に対する理念・構想」	成蹊大学大学院は、成蹊学園建学の精神に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与すること及び高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。	成蹊大学大学院においては、設置する博士前期課程の4研究科8専攻のすべてで専修免許状が取得できる教職課程を設置している。それぞれの研究科専攻の基礎となる大学学部等の課程では「広い視野を持ち、高度の専門的知識・技能、科学的研究精神を身につけ、理論的考察力においても実践的教育活動においても、生徒・保護者ばかりでなく、日本国民や世界の人々の期待に応えて活躍できる教師を育成する」目的で教職課程を設置している。大学院研究科の課程においては、これに加えて、学部と大学院の継続性を考慮した教育の実践と教育研究過程においての様々な経験を通し、専門分野の深い知識と、隣接分野、学際的な分野の学修により得ることを目標としている。これにより、現代の知識基盤社会を支える広い知的素養を兼ね備えることで、教育者としての広い視野と確固たる倫理観をもち、生徒をしっかり指導・支援できる能力を培う教員の育成を目指している。これらの能力・知識・技能・使命感と教職の力量を兼ね備え、教員として父母や生徒に柔軟に対応でき、日本国内のみならず国際社会に通用する人材の養成を構想している。	
文学研究科	英米文学専攻	学科等の「①設置理念」 「②教員養成に対する理念・構想」	<p>【文学研究科英米文学専攻】</p> <p>■文学研究科の理念、目的 本研究科は、言語、文学、歴史、思想等に関わる伝統文化を継承しながら、新たな知見を生み出して社会に寄与することを基本理念としている。教育研究上の目的は人間と社会に対する広範な理解および探究心と、高度な専門知識と能力を持った専門職業人や広く深い専門的素養を身につけた人材、ならびに問題を発見し追究する能力に富み、学問的創造性を発揮しうる優れた学術研究者の育成である。</p> <p>■英米文学専攻の教育研究上の目的（人材育成方針）</p> <p>ア 研究コース イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育のいずれかの分野において、創造性豊かな優れた研究活動を行っていくために必要とする専門的知識の修得及び研究能力の涵養を目的とする。</p> <p>イ 総合コース イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育のいずれかの分野において広い専門的知識及び豊かな英語能力を兼ね備えた高度な専門職業人並びに広い知的素養を備えた人材の養成を目的とする。</p> <p>ウ 英語教育コース 英語教育に関する高度な理論及び方法並びに授業実践に結びつく専門的知識を有する優れた英語教員の養成を目的とする。</p>	英米文学専攻では「研究コース」「総合コース」「英語教育コース」と三つのコースを設けている。「研究コース」においては、イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育のいずれかの分野において、創造性豊かな優れた研究活動を行っていくために必要とする専門的知識の修得及び研究能力の涵養を目的とする。「総合コース」においては、イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育のいずれかの分野において広い専門的知識及び豊かな英語能力を兼ね備えた高度な職業人並びに広い知的素養を備えた人材の養成を目的とする。「英語教育コース」においては、英語教育に関する高度な理論及び方法並びに授業実践に結びつく専門的知識を有する優れた英語教員の養成を目的とする。いずれのコースにおいても、学部で培った専門的な知識と英語力に基づき、各自が選んだ分野において研究手法と知識を修得し研究テーマを追求するとともに、英米文学文化・英語学・英語教育のそれぞれの分野で高度な専門知識を身につけることを目的とする。上述のような英米文学専攻の理念および教育目標から、イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育に関する深い専門知識と理論を身につけ、教員として教育現場で指導的な役割を担いうる高い知識と見識をもつ英語教員を養成する。	
			○中学校専修免許状（英語） 英米文学専攻では「研究コース」「総合コース」「英語教育コース」と三つのコースを設けている。「研究コース」においては、イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育のいずれかの分野において、創造性豊かな優れた研究活動を行っていくために必要とする専門的知識の修得及び研究能力の涵養を目的とする。「総合コース」においては、イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育のいずれかの分野において広い専門的知識及び豊かな英語能力を兼ね備えた高度な職業人並びに広い知的素養を備えた人材の養成を目的とする。「英語教育コース」においては、英語教育に関する高度な理論及び方法並びに授業実践に結びつく専門的知識を有する優れた英語教員の養成を目的とする。いずれのコースにおいても、学部で培った専門的な知識と英語力に基づき、各自が選んだ分野において研究手法と知識を修得し研究テーマを追求するとともに、英米文学文化・英語学・英語教育のそれぞれの分野で高度な専門知識を身につけることを目的とする。上述のような英米文学専攻の理念および教育目標から、イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育に関する深い専門知識と理論を身につけ、教員として教育現場で指導的な役割を担いうる高い知識と見識をもつ英語教員を養成する。		
			○高等学校専修免許状（英語） 英米文学専攻では「研究コース」「総合コース」「英語教育コース」と三つのコースを設けている。「研究コース」においては、イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育のいずれかの分野において、創造性豊かな優れた研究活動を行っていくために必要とする専門的知識の修得及び研究能力の涵養を目的とする。「総合コース」においては、イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育のいずれかの分野において広い専門的知識及び豊かな英語能力を兼ね備えた高度な職業人並びに広い知的素養を備えた人材の養成を目的とする。「英語教育コース」においては、英語教育に関する高度な理論及び方法並びに授業実践に結びつく専門的知識を有する優れた英語教員の養成を目的とする。いずれのコースにおいても、学部で培った専門的な知識と英語力に基づき、各自が選んだ分野において研究手法と知識を修得し研究テーマを追求するとともに、英米文学文化・英語学・英語教育のそれぞれの分野で高度な専門知識を身につけることを目的とする。上述のような英米文学専攻の理念および教育目標から、イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育における高度な専門的知識や理論（文学理論、文化理論、第二言語修得理論等）を修得し、英米文学文化研究あるいは英語教育の学術的発展に貢献できる創造性豊かな研究能力を有し、教員として教育現場で指導的な役割を担いうる高い知識と見識をもつ英語教員を養成する。		

3. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

<文学研究科英米文学専攻>（認定課程：中専修免（英語））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<p>文学研究科英米文学専攻においては、英語教育に関する確かな理論と実践的応用、英語圏文学文化に関わる深い知識を身につけた高度な資質を修得した英語教員の養成を目標とする。</p> <p>前期においては、「イギリス文学研究」「アメリカ文学研究」「英語学研究」「英語教育研究」などを履修する。さらに半期完結の科目である「コア・カリキュラム」を設け、自分の専門分野以外の研究分野についての素養を育むことを目指す。</p> <p>こうした科目を履修することにより、前述の知識を習得するとともに、英語教員として教育現場で指導的な役割を担いうる高い知識と見識をもつ教員像についての意識を涵養することを目標とする。</p>
	後期	<p>前期に引き続き、前期に掲げる英米文学専攻の科目を履修する。</p>
2年次	前期	<p>1年次に引き続き、「イギリス文学研究」「アメリカ文学研究」「英語学研究」「英語教育研究」などの科目を履修する。また大学院教育の集大成として「修士論文」または「特定課題研究の成果」の執筆に向けて自らの研究に取り組む。</p>
	後期	<p>前期に引き続き、前期に掲げる英米文学専攻の科目を履修するとともに、「修士論文」または「特定課題研究の成果」を完成させることを最大目標とする。こうした修養を通じて、英語圏文化や英語学に関する深い知識、および英語教育に関わる高度な専門知識を身につけた英語教員となることを目標とする。</p>

3. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

＜文学研究科英米文学専攻＞（認定課程：高専修免（英語））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<p>文学研究科英米文学専攻においては、英語教育に関する確かな理論と実践的応用、英語圏文学文化に関わる深い知識を身につけた高度な資質を修得した英語教員の養成を目標とする。</p> <p>前期においては、「イギリス文学研究」「アメリカ文学研究」「英語学研究」「英語教育研究」などを履修する。さらに半期完結の科目である「コア・カリキュラム」を設け、自分の専門分野以外の研究分野についての素養を育むことを目指す。</p> <p>こうした科目を履修することにより、前述の知識を習得するとともに、英語教員として教育現場で指導的な役割を担いうる高い知識と見識をもつ教員像についての意識を涵養することを目標とする。</p>
	後期	<p>前期に引き続き、前期に掲げる英米文学専攻の科目を履修する。</p>
2年次	前期	<p>1年次に引き続き、「イギリス文学研究」「アメリカ文学研究」「英語学研究」「英語教育研究」などの科目を履修する。また大学院教育の集大成として「修士論文」または「特定課題研究の成果」の執筆に向けて自らの研究に取り組む。</p>
	後期	<p>前期に引き続き、前期に掲げる英米文学専攻の科目を履修するとともに、「修士論文」または「特定課題研究の成果」を完成させることを最大目標とする。こうした修養を通じて、英語圏文化や英語学に関する深い知識、および英語教育に関わる高度な専門知識を身につけた英語教員となることを目標とする。</p>